

平成30年度

学校関係者評価報告書

令和元年10月

学校法人 向洋学園

宮崎マルチメディア専門学校

平成30年度 学校法人 向洋学園 学校関係者評価報告書

学校法人向洋学園は、当学園の教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己評価を実施し、「令和元年度 学校自己評価報告書」を取りまとめ、宮崎マルチメディア専門学校に公表致しました。

また、この度、学校関係者評価委員会を設置し、当学園に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当学園の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和元年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、当学園のより社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月 30 日
学校法人 向洋学園
理事長 井手脇 万詔

1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

2. 宮崎マルチメディア専門学校校訓

自 発
探 求
実 践

3. 学校の教育目標

- (1) 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
- (2) 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
- (3) プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
- (4) 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 安全な学校生活、円滑な授業を促進するため、学生の日常に配慮する。
- (2) インターンシップのあり方、企業との連携のあり方を再考し、業界のニーズと本校の学生の目標をマッチングさせる。
- (3) 社会貢献できる人材育成を教育の一つとして考え、学生に様々な社会との関わり方の機会を設ける。

5. 学校関係者評価委員会実施日時

日時 : 令和元年10月24日(木) 15:00~17:00

場所 : 宮崎ブライダル&医療専門学校

6. 学校関係者評価委員一覧表

	評価委員	所属	役職名
1	白石 敬晶	宮崎産業経営大学 経営学部	教授
2	匠 貴司	株式会社グローアップ	代表取締役社長
3	佐藤 竜一	宮崎マルチメディア専門学校	校長
4	三橋 幸四郎	宮崎マルチメディア専門学校	副校長
5	戸田 美香	宮崎マルチメディア専門学校	副校長

7. 討議・意見交換について

1	大項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	中項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	◆特に説明、指摘なし	
2	大項目	学校運営
	中項目	諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関
	<p>「学校の意思決定機関が効率的なものであるか」の評価項目について、様々な状況で学校の意思決定が行われることで効率的でないものと感じるものがあれば検証し改善していくことが説明された。</p> <p>「学生及び職員の個人情報について、個人情報保護法を遵守しているか」の評価項目について、個人情報については、情報の内容、場所、責任者等を周知させ、直接取り扱う職員には特に注意を払って取り扱うように指導する。また情報管理の定期的な確認の時間を設けることが説明された。</p>	
3	大項目	教育活動
	中項目	理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価、単位認定、資格試験、教職員
	<p>「教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか」の評価項目について、ゲーム業界などは狭き門ではないか？学生の希望と世の中のニーズが合っていないのではないか？入社された学生さんを見ると企業で必要な技術を学ばせる事の方が大事ではないか？学校で学んでいる事で就職先があるのか？もう少し、企業のニーズに合った授業を行うべきではないか？という意見があり、必要とされる指導力の向上を目指すために実施する研修等を考えていく必要があるとした。</p>	
4	大項目	学修成果
	中項目	就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減
	◆特に説明、指摘なし	

	大項目	学生支援
	中項目	進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制
5	<p>「学生相談に関する体制が整備され、機能しているか」の評価項目について、クラス担任だけで学生に対応することが難しくなっており、全職員で情報を共有しながら対応していく必要があることが説明された。</p> <p>「卒業生への支援体制はあるか」の評価項目について、同窓会を作って欲しいという要望があり現在立ち上げを模索しており、メリットとして、「卒業生の中には人事をやっている卒業生もいて、学生の採用に繋がっていく可能性がある」、「卒業生同士で繋がりを持って人脈を広げる機会になる」などが挙げられるという意見が出た。卒業生支援もあるが、卒業生が集まれる場を作ってあげるといいのではないかと？当校も何か、きっかけを作って1歩踏み出す事を行って行きたいとした。</p>	
	大項目	教育環境
	中項目	教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理
6	<p>「危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか」の評価項目について、大学では、台風時、休校のお知らせをホームページで案内、および全員の学生にメールで案内を行っており、今後は安否確認をグーグルのアンケートフォームを使ってWeb上のアンケートで行うことを検討しているという具体例を聞き、当校でも早急に災害に対する対策を検討するとした。</p>	
7	大項目	学生募集
	中項目	学生募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金
	◆特に説明、指摘なし	
8	大項目	社会貢献、地域貢献
	中項目	社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動
	◆特に説明、指摘なし	
9	大項目	財務
	中項目	財務状況、監査、財務状況の情報公開
	◆特に説明、指摘なし	
1	大項目	法令遵守の状況
	中項目	法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み
0	◆特に説明、指摘なし	